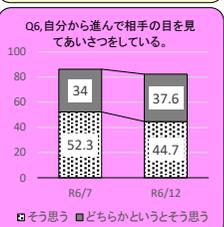
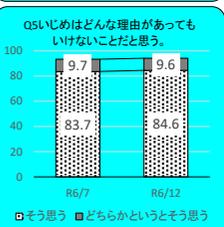
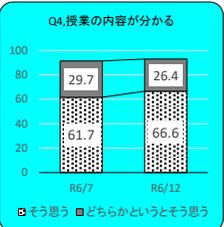
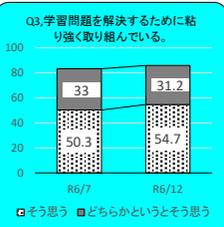
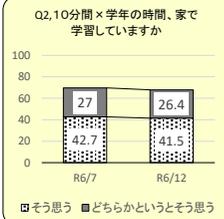
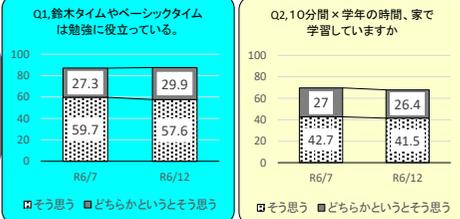


第2回学校アンケート
実施日：令和6年12月2日～12月20日
対象：児童 311名

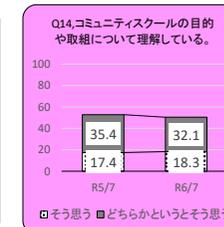
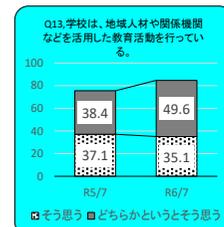
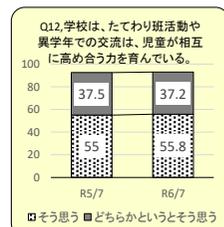
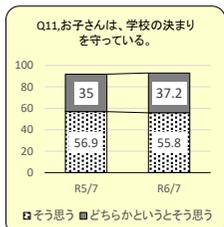
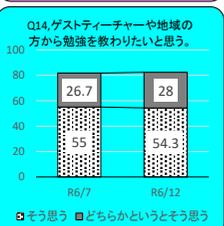
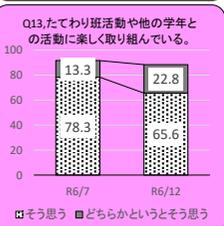
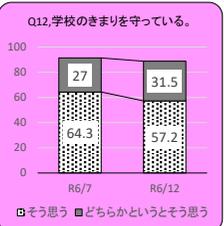
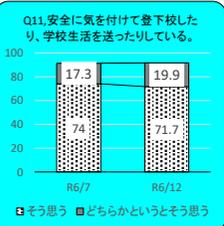
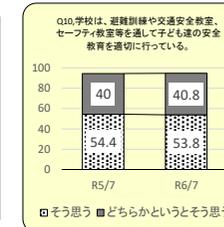
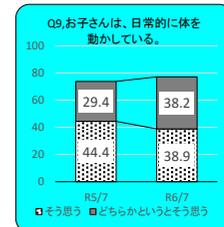
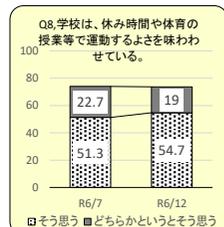
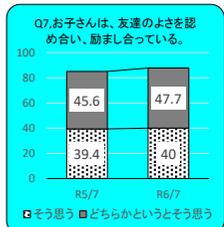
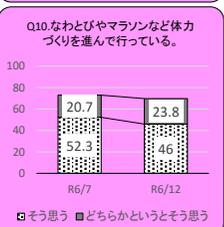
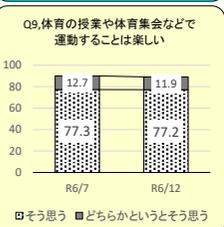
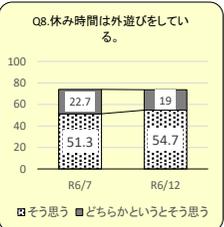
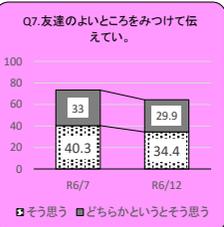
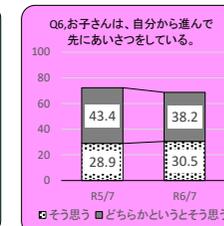
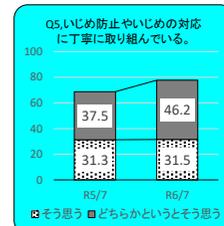
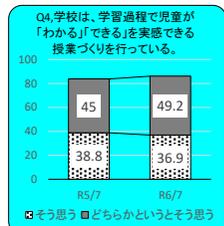
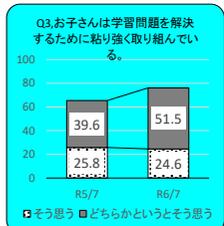
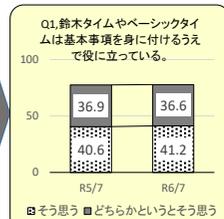
7月に実施した第1回と今回の結果の変化を調べました。各設問について、「そう思う」「どちらかというと思う」と『肯定的な回答』をした児童の回答について比較をしました。

『肯定的な回答』が増えた設問は太線で、



第2回学校アンケート
実施日：令和6年12月2日～12月31日
対象：保護者・地域の皆さま 131名

7月に実施した第1回と今回の結果の変化を調べました。各設問について、「そう思う」「どちらかというと思う」と『肯定的な回答』をした児童の回答について比較をしました。



【分析】

○全体的に見ると、肯定的な回答率が増加した項目と減少した項目が半々であった。
○学力向上の項目(Q1～Q4)で肯定的な回答率が増加している。
○Q7の「友達の良いところを見つけて伝えている」の項目で肯定的回答の割合が9ポイント減った。日常の活動や授業の中で、友達の良いところを見つけて伝える場面を意識的に増やしていきたい。
○Q8、Q10の体力向上の項目において肯定的な回答80%を下回っている。休み時間以外で遊ぶことは学校のきまりにも記載されているため、来年度はさらに積極的に推進していきたい。
○Q14ゲストティーチャーや地域の方から勉強を教わりたいと思う児童が増えた。ゲストティーチャーや地域の方を招いた授業や活動を通して、普段の授業では得られない知識や体験に触れ、「学ぶことが面白い」と感じる事ができたためだと思われる。

【分析】

○全体的に肯定的な回答率が増加または、横ばいの回答が多い。
○「お子さんは、自分から進んで先にあいさつをしている」の項目で肯定的な回答率が減少した。年間を通して、継続的にあいさつをする習慣を育てていきたい。
○学力向上の項目(Q1～Q4)で肯定的な回答率が増加している。特にQ3「学習問題を解決するために粘り強く取り組んでいる」の設問では、7月より肯定的な回答率が10ポイント以上増加している。
○Q5「いじめ防止やいじめの問題に丁寧に取り組んでいる」の項目の肯定的な回答率が9ポイント増加した。
○Q14「コミュニティスクールの目的や取組について理解している」の項目では肯定的な回答率が約40%と減少した。活動報告の共有や、保護者が参加しやすいイベントやボランティア活動を企画し、コミュニティスクールの一員として関わる機会を増進していきたい。